

京都教区時報

第103号

田中司教認可

毎月1日発行

発行 京都司教区 発行責任者 村上透磨
 編集 京都カトリック教理センター 住所 京都市左京区仁王門通新高倉東入 Tel 761-9095

教区ビジョンと基本方針を解説する

生き残れるか

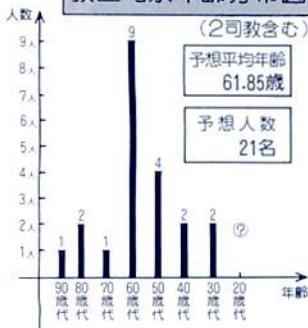
京都教区の10年後

思いきった変革を!!

10年後の京都教区はどうなるだろう。希望の材料も決してなくはないが、それにも増して問題点が大きく目に見えてるので、一つ二つ取り上げて問題提起をしてみたい。

一、司祭の数と年齢

手元の資料を見ると、(京都教区内の全司祭の人数、年齢、調査表は2頁に掲載)現在京都で働く教区司祭の数は19名で、平均的年齢が54歳。10年後にも現在の教区司祭が全員元気で働き、大神学校の学生が全員司祭になつたと仮定して、その年齢分布は表の様になる。この表は最大値だから現実には少くなる事は確実だし、病気や老齢のために働けない場合も充分に考えられる。何よりも考えねばならないのは、60歳以下の司祭の数がない名(現在15名)になることである。メリノール会の場合は現在の平均年齢が62歳であるから状況はさらに厳しい、10年後、40代1名を除いて全員が65歳以上となる。マリスト会、レデンプトール会なども、ほぼ教区司祭の状況と似た様な方向に違いはない。早急に計画を立て、準備を進めないと手遅れ

10年後の
教区司祭年齢分布図

二、青年の教会離れ

具体的なデータを集めてはいいながら、名簿上の数と実際の出席者数の比較や、求道者、洗礼者の青年の数などを見ても、青年の教会離れは激しいと思う。教会はなぜ離れるのか、何か思いきった変革を試みるときではないだろうか。(三)

にはならないか。一司祭、一教会などという事は考えられないし、京都市内に12もの教会が必要なのだろうか、教会、司祭の適正な配置ばかりでなく、もっと根本的に、組織、考え方、習慣、信仰生活のスタイル、教会の運営など、すべての面にわたつての体质刷新をして、司祭に頼らない教会づくりを考えるべきではなかろうか。総合的な計画と態勢づくりが急務だと思う。

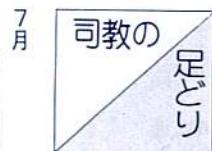
京都教区で働く司祭・の人数・年齢調査表

修道会名	年代別人数							人数合計	平均年齢
	80歳	70歳	60歳	50歳	40歳	30歳	20歳		
教区司祭	1	2	1	9	4	2	0	19	54.58
カブチング会	0	0	0	1	0	0	0	1	57.00
メリノール会	1	2	8	6	0	1	0	18	61.83
オプス・ディ	0	0	0	1	0	0	0	1	53.00
男子エスコラピオス会	0	0	1	4	2	0	0	7	52.71
男子跣足カルメル会	0	1	0	0	2	0	0	3	54.00
ドミニコ会	0	1	0	1	0	0	0	2	63.50
フランシスコ会	0	0	0	1	1	0	0	2	50.50
イエズス会	0	0	1	0	0	0	0	1	64.00
マリスト会	0	1	0	8	4	0	0	13	53.00
レデンプトール会	0	1	2	3	1	0	0	7	68.14
聖ヴィアトール会	0	0	2	1	0	1	0	4	55.25
ザベリオ会	0	0	0	0	1	0	0	1	43.00
グアダルペ会	0	0	0	1	1	1	0	3	44.66
合計	2	8	15	36	16	5	0	82	55.37

- 司祭人数 82名
外人司祭 52名
日本人司祭 30名
- 教区信者総数 21,348名

全司祭 平均年齢 55.37歳

1985.7.29現在



22日	21日	20日	19日	18日	17日	16日	15日	14日	13日	12日	11日	10日	9日	8日	7日	6日	5日	4日	3日	2日		
(日)	(土)							(日)														
面談。O師来訪	Y師来訪	神の園開園	津葬儀に代理を派遣。	Y師来訪	Y師来泊	草津カトリ幼で大事故。	法人担当者と共に草津急行	祇園祭巡行。教区時報編集会議。	M教会信徒代表と面談	出席(大阪カテドラル)	京南司祭例会。	と面談、夕食会。祇園青山祭	案内	区長来泊	L師と面談。	MM総長・管区長	MM総長・管	MM総長・管	K氏と面談	OFM代表と面談。	河原町ミサ。高山師司祭銀祝	平城NT合同会議

「誰でも老いていつて、自由にならなくて人のお世話にならなければならぬのですが、一人、一人の中に神の御業が働き、神のたなごころの中で年をとっているんですよ。だから私達は互いに救いの御業を大事にして、相手の中に特に弱いの中に神を見い出していきたいと思います。」



23日 原田親子来訪
24日 中外日報訪問
29日 第55回信徒使徒職養成コースに参加(彦根)

'85「平和への歩み」講演要旨

「アジア諸国と日本」

—せまられる回心—

7月14日 於 京都カトリック会館

講師 Sr. 弘田しづえさん

(元アジア司教協議会人間開発局事務局長)

日本はアジアの中にありながら、アジア人としての意識が薄い。教育、寿命などあらゆる面でアジアは貧しいと言われる。すると富める日本はアジアの中にはいれない。アジアの教会は貧しい人々と生きた対話をする教会を目指しているが、日本の教会がアジアの教会であるためには、真の連帯をどう生きるべきか問われている。

アジアの“ピープル people”は日本をどのように体験しているか。農民、漁民、スラム住民、少数民族を指し日本語に訳そうとしても、適當な言葉がない。このピープルと連帯できる日本人は誰か。一戦争つまり日本の植民地侵略を抜きにしてピープルの日本体験を語ることはできない。私たちは歴史を忘れ無神経になつてゐるが……。

そして今、ピープルは新たな侵略を体験している。富める国が貧しい国を思いのままにする経済侵略が、アジア諸国の日常性の中に進行している。日本企業の労働者弾圧、建設のための強制移転、売春観光など、貧しい国で贅沢をする庶民の健全観光でさえ考えさせられる。“味の素”“サンリオ”商品はアジアの隅々まではいりこみ、

(ヌヴェール会・Sr 大森)

永年の信用と実績 真心のこもったご奉仕

◇京都府和裁協同組合特約指定店(会員割引)

◇万一の場合に備えての無料相談所

本社1Fサービスセンター・

南支社楨島会館に常備

葬祭センター

公益社

〈本社〉烏丸三条下ル ☎ 221-4116(代)

北支社・堀川鞍馬口・☎ 075-431-7121(代)

南支社・宇治楨島町・☎ 0774-20-0042(代)

おいしく安い毒性は食生活の習慣を変え、価値観までも変えた。経済侵略は文化侵略にまで至っている。今や違うやり方で大東亜共同圏を築いている。人作りの名のもとにアジアの若者に日本の教育をしたいという中曾根首相の発言こそは文化侵略の一例である。

日本はアジアの人々の生活に喰い込み、人々をさえ食べて、太っている。アジアの土地(畑と人々)と人間を使い、できた物を高く売りつけ、えらそうな顔をして援助といふ。貧しい人々に偏見を持ち、怠け者、きたないと言うだけで彼らが何を考えているか、又なぜこのような非人間的状況におかれているか知らない。犯罪的無知である。知つたとしても人間の問題として捉えず行動しない。大切なことは行動する知り方である。貧困は人災であり、権利に関する問題である。

人間が“もの”として扱われる非人間的状況をよしとせず、貧しい中から分かち合い、ものの意味を真に知る人々から人間の原点、パンの奇跡を学び、自分が変わることは日本が変わることだと信じて回心したい。

あなた！必読のこと!!

A.ニコラス師



教区ビジョンと基本方針を解明する

6月22日(土)～23日(日)

宣教司牧評議会総会より

講演内容

- (一)二つの指針の関連と両者の成立課程の問題
- (二)個人、社会、共同体について
- (三)基本方針の①と②について
- (四)福音宣教とは何か

(二)個人・共同体・社会

(一)両者の成立課程の問題

- (1) 我々が問題にするのは価値判断の問題ではなく信仰の体験の問題である。

この信仰の体験の問題は決して理論的でも体験的でも上からものでもない。その点基本方針は、上から理論的に与えられたと言う問題を常にかかえている。

- (2) 体験の問題は常に過程が大切なので、忍耐強くこの自發的な盛り上がりの過程を大切にすべきだと思われる。

- (3) 基本方針は全国的、一般的であり、また短期間に作られたために具体性にかけ、大急ぎで二つのタイプの意見を総合したという懸念もある。

- 悲しく眞面目で教えが多くて神学的なもののとらわれから解放された共同体
- それは、
- 悲しく眞面目で教えが多くて神学的なものとらわれから解放された共同体
- それは、

- 祝い。共同体的な祭、体の祭、参加の祭り、喜びの祭り。
- そこから自然な宣教が生まれる。多くの日本人に信仰を伝える自信がない主な理由の一つは、教えをむずかしい言葉で受け入れすぎた。言葉より体験的なもの、共同体、祝い、喜び、希望の体験が欠けている事。
- 希望を体験する人となるために貧しい人々との関わりが必要。彼らに残されたものは希望しかないのだから。
- みことば、内的体験、体の関わり、この三つが調和される事。
- カトリックの伝統的な原則がある、「これかあれか」ではなく「これもあれも」と言う事。そこから大きな緊張感が生まれる。
- これが次の問題と関わりをもつてくる事になる。

把握の限界、信徒の理解浸透の限界、適応の相違等が多くのとまどいを生じさせている。

教区ビジョンは少くとも下から盛り上り、具体的な事からの出发という点では、また地方性という点ではもっと具体的な体験的であり、基本方針の具體化とも言えよう。

けちな恵みの神学から溢れる恵みの神学への移行。人をコントロールするのではなく自由に解放しまる神からの解放。

捷と束縛で人をがんじがらめにする小さな神から、罪にさえ顛転かぬくるす大きな神への要理に生かされているもの。

(三) 基本方針の①か②の問題

(1) ①か②かと言う問いかけ自体問題がある。二つは表裏一体の問題である。両者の総合的な生き方こそ必要である。

(2) この事を理解するために三つの力について考えておこう。

①聖体の原動力(ダイナミックス)

「食卓についてない人々」とある聖体と教会を一つに見るのは伝統的な教会論である。

聖体は信仰を生きる力である。

しかしミサがこの信仰の生きた力を生かしきれているだろうかと言ふ反省がある。

聖体の原動力は「プレゼント交換」の原動力である「与え合う事」。自分を与える関係が社会に適応される。自分を与える事によって自分が変わり、社会が変わる。聖体はそれを求める。

②祭司祭のダイナミックス

信徒はみなキリストの祭司祭にあずかると言う事。これは神、世界、私の間の恵みと奉獻の仲介の業である。キリスト者の第一の場はむしろ社会である。キリスト者はこの社会との間の和解の福音を伝えるものである。我々の生活の

80%以上は社会の中にあるのだから。司祭の役割は社会変革の仲介者、奉獻者の役割である。

③宣教の原動力が問題になる。それは福音宣教とは何かと言う事にこそ必要である。

(四) 福音宣教の内容

(1) ここで、福音や公会議の目ざす根本的な三つの点がある。

①内的な福音化。教会内が福音化していく事、福音によつていつも改心していく共同体。福音的に生きる事による改心していく共同体。

②外へ向う共同体。社会が福音化される事。特に貧しい人々への関心。

③三位一体的理解。三位一体の与え尽す。自分の生命が外に溢れ出る、愛があふれ出る。これが福音宣教の内容となる。

◆ いくつかの補足的指針

(1) 両方針を受け入れ生かしていく構造(共同体)を作る努力。

(2) 若い人の参加、その創造性、新鮮さ、エネルギーを受け入れる。忍耐強い抱擁力と理解をもつ事。

(3) 総合的に見ていく事。社会的、教会的、典礼的側面の総合的な見方。社会、家庭、教会の三つどもえの関係等。

(3) 従つて社会の問題は、頭でも、神学の問題でもなく心の問題であり、心の問題は貧しい人の問題である。これが福音宣教の内容である。これが福音宣教の内容である。

（4）キリストは人の必要に応じて応えようとする。これが福音宣教の内容である。



補足



- ①宣教の三位一体的解釈について福音宣教は三位一体の働きによつてなされ、特に聖霊の働きによる事が公会議特に教会憲章等)にて示された事に注目しよう。
- ②キリストは布教も行われた事で、キリストによって弟子達が派遣され、その派遣を受けて信者を増すと言う教会中心の布教論であった。人々の必要を考える前に、無理やりにキリストに結びつけようとする。そのため強制やおどしや文化無視の布教も行われた事への反省が必要となつていて。
- ③キリストが無視されるのでなくむしろキリストの様に人々の必要に応じて人々を生かそうとする。そこでキリストはどの様な方が、キリストはどの様にされたか、キリストの注がれる目は?心は?を探つていこうとする。
- ④そこからキリストをどの様に教会の中に生かすかが問題になる。この社会に神の言葉が入るにはどうすればよいのか。この社会の中で信仰の喜びとは何か。この社会の中では人は何を必要としているかを問い合わせねばならない。
- ⑤我々はよい人を信者にする事は上手でも、受け入れにくく人を受け取るのが下手である。何故そうなのだろう。



衣笠教会主任。米国ミズーリ州出身。日本メリノール会。在住17年。趣味、電気・車を液型O型、身長192cm。

「活動として、私はだいたい聖体を持つて病者訪問したり、そして一般的の信者訪問も暇さえあればしています。だけど約束もしないで突然参りますから、40%の人しか会わないですよ。」

「だけど、教会に全々見えない人にも家まで行くと来るきっかけになりますから。」

神父
たんぽう

「忙しいけれども、私は司祭の仕事が大好きです。」

ルイス・ウォルケン神父
将来のこと考えて一般の信者が教会の仕事に協力する。衣笠教会は今一人しか聖体奉仕者がいませんが、私の願いは、正式な聖体奉仕者がたくさんでき小教区を手伝ってくれるといいんじやないかと思います。」

「神父になつて20年になりますか。ずっと滋賀刑務所の教説師の仕事をしているんですよ。この刑務所は初犯7年以下の刑の人達がいるところでね、おこがましいんですけど彼らが、私との出会いを通して更生意欲、あるいは精神的なバツクボーンとしての何かをつかんでくれればと願っているんです。」

花井拓夫 神父
桂教会主任。三重出身、性格、全てのこと精一杯やっていること。趣味、油絵。血液型、B型。
桂教会主任。三重出身、性格、全てのこと精一杯やっていること。趣味、油絵。血液型、B型。

も、宣教師もちょっと少なくなることですから、私達はどうしても

将来のこと考えて一般の信者が教会の仕事に協力する。衣笠教会は今一人しか聖体奉仕者がいませんが、私の願いは、正式な聖体奉仕者がたくさんでき小教区を手伝ってくれるといいんじやないかと思いま

みえくようと〈教区〉しが〈教区〉なら〈教区〉



◆彦根教会

昨年9月より水曜会と聖書週間を続けて行つてある。

水曜会は、水曜日の午前九時のミサ後、聖書の分かれ合いと奉仕作業（主にお年寄りのグループ）を行つた。

聖書百週間は、毎週金曜日午後7時より9時まで行つてある。

◆四日市教会

離教信者が多くなる傾向な

で特別委員会を作り、その委員

を中心て誕生日カードや印刷物の発送、訪問などを企画し実施段階に入つています。（篠田）

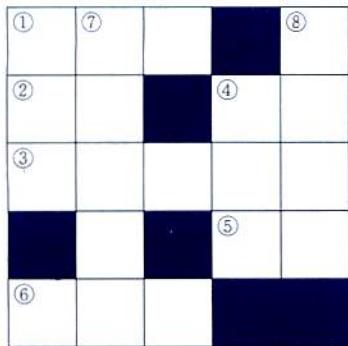
◆西大和カトリックセンター

当教会は献堂後、満7年になりますが、信徒数が当初の倍になりました（約150名）。信者会の会則を一歩進めて共同体規約という形で共同体のビジョン、精神を盛り込んだものを今年の4月頃から取り組んでいます。（ビジョンについては教区ビジョンや基本方針を参考に、それを生かしたものにする。）

（岡）

三人の小神学生と一人のシスター志願者、その他の召し出しの恵みを願つて、ミサの後、特別にお祈りをしている。子供の宗教教育には教育部が特に力を入れている。南米、ボリビアで宣教活動をしている宮崎カリタス会のシスターの方のため特別に祈り、バザー収益金などを送つて支援している。

昨年はそのお金で2台のミニバンを現地の人たちに贈ることができた。（阪口）



☆答えをハガキでお送り下さい。正解者の
中から5名の方に記念品をプレゼントいた
します。住所、名前、電話、年齢、教
会をかいて9月末日までに編集部宛お送
り下さい。解答は11月号に掲載。

聖書クロスワードパズル

- 頭のリフレッシュ
- ①救いの○○○をつけ聖靈のつ
るぎをとりなさい(エペソ)
②おまえがいちじくの木の下に
いるのを見た(ヨハネ)
③捕囚の民のさしげものをエル
サレムに持ち帰った三人の一
人(ザカリア6)
④○○○○のときまで毒麦も一
緒に育つ(マタイ)



- タテのかぎ
- ①約束の地(創世)
②汚れたもので食べではならぬ
い動物(申命)
③自分のように愛しなさい(ル
カ)
④まきもせす刈りもしない(マ
タイ)
⑤イエズスのわき腹を突き刺し
た(ヨハネ)
⑥エリヤが使ったのは貧乏のせ
いではない(列王下)

ヨコのかぎ



京都・奈良ウォーカソン
お礼の手紙

マリアの宣教フランシスコ会

リストの平和と愛がありますように!

梅雨の朝にとなんに暑い夏がやって来ました。
村上神父様はじめ教会の皆様、暑さにも
めげずご活躍のこと存じます。

この度はアフリカ、ブルキナファスト(旧名 オットンゴ)
の井戸掘りの資金として多くの方々の汗のための
である多額の寄付金を手にかかへて貰いました。

井戸掘り箇所もさまれおり資金のないまま
に放置されておりましたが、どうにんて工事にかかることですか
あちうの方々もよろしくお
願い目に浮かぶようござります。本当にありがとうございました。

本末にはヒスター水鳥の手残りを工事で
お喜びする余外園の研修中のため、私が代筆
させて頂きました。

貴教會の上に神さまの祝福をお祈り申しあげ

ます

管区会計 S. Marguerite Marie 施

礼拝するのは勿論神様だけです。
でも、亡くなった魂を愛する事は
正しい事です。
最近、司教団の諸宗教委員会から
「祖先と死者についてのカトリックの手引」を出版し、これが教会
内外に大きな反響を呼びました。
日本と、特殊な社会事情の中で、
仏壇、お墓、他宗教の儀式、命日、法事等がかかる問題につ
いて答えてています。
この指針の根本に流れれる精神は

せんすうはいゆる祖先崇拜は許されるの?

すべての死者に対する愛と尊敬の心。日本人の死者に対して抱く深い靈的な思いに対する理解と尊敬の心があり、キリストの復活の恵みは、まず信徒に及びますが、キリストの心は広く、すべての死者をも父の様な心で包むと言う、寛大な精神の体験から生まれている様に思えます。キリスト者以外の人々の魂を鞭打つ事が果たして許されるであるかと、私達に問いかけています。

教えてサロモンさん!!

チャリティコンサート
園部教会

会場
園部教会聖堂
(収容人数400名)

日時
10月5日(土)
PM7:00~8:30

演奏者
大西久美さん
(エリザベト音大宗教科バイオルガニスト)
日本オルガニスト協会所属

演奏曲目
 ①サラバンド・ジーグ・パディネリエ
 ②主よ人の望みの喜びを
 ③フーガト短調
 ④自らを飾るべし おお愛する魂よ 魂よ
 ⑤トッカータとフーガニ短調
 ⑥プレリュード・フーガ・ヴァリエーション
 ⑦ゴシック組曲

難民対策の一環として、この収益金はアフリカ難民援助とボランティア活動に当てさせていただきます。

協力券 1枚 1,500円

▼教区スケジュール	
9月	
8日	平和への歩み学習会
15日	敬老の日、スカウトサンデー
22日	奈良教会創立80周年 (皇子山公園野外ミサ)
30日	西院堅信ミサ
29日	教区祭評定例会

お知らせ



第5ブロック&AVフェア講演会

弱い立場に立たされている人々、差別されている人々の訴えと叫びの中に、キリストの叫びを聞こう!
テーマ「わたしを解放するもの～窮屈（人権）」
講師 井上新二氏（教師）
Sr.白井詔子（女子パウロ会）
内容 「ビデオ・ドキュメンタリー」
「わたしを解放するものの試写、ビデオ制作にあたって学んだこと」
日時 9月29日(日) PM1時~4時
場所 北浜カトリックセンター17
(住友信託ビル) 入場無料
主催 カトリック大阪大司教区
後援 女子パウロ会
カトリック大阪大司教区

アジアの兄弟のため **タイ国**
(ウボン教区)
今年も歩こうウォーカソン
9月23日(奈良) 11月4日(祝)(京都)



お問い合わせ/教理センター・アネックスまで
☎(075)761-9095

聖書週間・・・

◆書道作品募集

作品〆切 9月30日(月)
展示期間 11月6日(水)~16日(土)

◆朗読コンテスト

申込〆切 10月31日(木)
コンテスト日 11月10日 AM10~12時

詳細は京都カトリック教理センターへ
TEL 075(752)0057 (時報102号参照)



聖書クイズ

七月号 解答

自分の中に忠実に生きようと、いつも思いながら、どこかで曲っている。自分の弱さを素直に見つめようと思いながら、自分の強がりになってしまいます。神様の前に立てて、「自分」を消してありのままのすべてを自分で受け入れられたらどんなに良いかと思う。(S)



▼多数の御応募ありがとうございました。
笠)宮崎るりか(鈴鹿)広野洋子(衣
笠)国分美子(登美が丘)(敬称略)
▼皆様の投稿、また御意見などもお待ちしています。